

# 平成29年度 学校自己評価表 海田町立海田中学校

学校教育目標 「本気で考え、進んで実践できる生徒の育成」

学校関係者評価委員会

評価計画				自己評価					学校関係者評価		
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための主な方策	評価項目・指標	目標値	参考値	中間値	最終値	達成度	評価	結果と課題の分析	コメント
確かな学力の定着と向上	◎主体的に学ぼうとする学習意欲の向上	○「課題発見・解決学習」の授業づくり (一人1回以上研究授業の実施) ○目的を明確にした補習の充実 ○学びのつながりを重視した小中連携	◇「授業では、自分の考えを積極的に伝えています」と肯定的に回答する生徒の割合	65%	【52】	59%		90%	B	・教務部教育研究係を中心に「課題発見・解決学習」の授業づくりに努め、後期に一人1回以上研究授業を実施できるように準備をしている。補習については、全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査前のみならず、定期テスト前にも実施し、学力の定着を図っている。さらに定期的、継続的に海中校区21推進委員会、学力向上推進委員会が開かれ、小中での意見交流を行っている。こうした地道な取組が目標値の達成度90%以上につながっていると考える。 ・広島版『学びの变革』アクション・プランを推進するうえで、「対話的な学び」を促す学習活動は必要である。一方でそれが学習規律が徹底されてこそより機能することであることから、学年の実態によってはその徹底に重点的に取り組んでいる現状もある。今後も学習規律の徹底を前提として、学習意欲の向上、学習の深化が図られる授業を展開していく。	・授業の中で、学習規律や態度の「かたち」は、徐々に定着してきている。更に学習規律の徹底を図り、静かな中で授業が行われると良い。 ・授業改善の流れは生まれている。小中交流して、組織的な取り組みを今後も進めたい。 ・「学び」のある授業、わかる授業をめざし、さらなる授業改善に取り組んでください。 ・授業で、ペア学習・グループ活動や発表に積極的に取り組まれていた。チームワークや人前で話せるようにするために、有効である。更に質を上げるため、話し合いの方法を身につけてほしい。 ・小テストの実施、ICTの活用ほか、小さいところからでも、指導の工夫を積み重ねてください。
	◎生徒が自分の考えや意見を述べ、他の意見を聞き学習の深化が図られる授業への改善	◇「協働的な思考の場を通して考えを深めることができた」と肯定的に回答する生徒の割合	80%		77%		96%	B			
人間性豊かな生徒の育成	◎自己実現力・自己効力感の向上	○生徒の主体性を生かした生徒会活動の創造 ○黙働流汗清掃の徹底とクリーン活動の推進 ○「あいさつ運動」の推進 ○「ボランティア活動」の推進 ○共感的・協同的な学級づくり	◇「自分にはよいところがあります」と肯定的に回答する生徒の割合	70%	(66%)	69%		98%	B	・生徒自身の努力もあり、学校生活全般が落ち着いてきた。それに対して、教職員が効果的に肯定的評価をすることができた。また、生徒会執行部の主体的な活動による生徒会活動の活性化、部活動の活性化により、頑張っている自分を実感することができ、「自分には良いところがあります」という項目の結果に成果が現れたと考えられる。 ・生徒会美化保健委員会が中心になって取り組んだ黙働流汗清掃クラスマッチにより、掃除に対する意識が高まった。また、前向きに学校生活を送る生徒が増え、掃除に対しても前向きに取り組むようになったことから、「一生懸命掃除をしています」という項目の結果に成果が現れたと考えられる。	・2学期がスムーズに開始できたのは良い。 ・部活動の活性化で生徒指導上の問題が減少したということについて、指導する先生に感謝する。一方で、部活動引退後の指導にも気を配ってほしい。 ・3年生の進路実現に向け、一人ひとりに寄り添う指導をしてください。 ・自己肯定感が目標値に近づいているのは嬉しい。無言清掃で取り組んだ組織力を生かし、A評価をめざしてください。 ・生徒の自己肯定感の向上を図り、学習・生活に前向きに取り組ませるために、先生が生徒の良いところを見つけて評価することが大切だ。 ・不登校が、1年以外が多い。引き続き取り組んでください。 ・無言清掃が定着していけば、すばらしい。
	◎無言でひたむきに掃除をする生徒の増加	◇「一生懸命掃除をしています」と肯定的に回答する生徒の割合	90%	(80%)	92%		102%	A			
保護者や地域に開かれた信頼され支持される学校となる	◎保護者の学校満足度の向上	○教育研究の推進による授業改善 ○生徒指導集中対策指定校の実践による生徒指導の充実 ○学校だより、学年・保健だより等の発行、HPの更新等、情報発信 ○部活動の活性化 ○外部人材・講師の活用	◇「海田中学校の教育活動には概ね満足している」と回答する保護者の割合	80%	68%	73%		91%	B	・昨年度と比較して、肯定的評価は幾分増えている。 ・学習規律の徹底を前提とした授業改善に取り組んでいることが、一定程度評価されたと考える。 ・生徒指導集中対策指定校として教室環境整備など、問題行動の未然防止に取り組み、生徒が徐々に落ち着いた学校生活を送れるようになっていくことが、一定程度評価されたと考える。 ・学年ごとに、評価に一定の開きがある(1年76%・2年73%・3年68%)。現在の取り組みを改善しつつ継続する必要がある。 保護者アンケート回収率は87%で、かなり向上した。ひきつづき回収の工夫により回収率の向上に努める。	・肯定的評価が増えているのは、大きな成果である。目標値も適切である。 ・校内に落ち着いた雰囲気を感じられ、保護者も少しずつ安心されているのではないかと。 ・保護者アンケートの回収率が着実に向上しているのは、明るい材料である。 ・保護者の評価は生徒の評価の反映であり、引き続き生徒をしっかり指導してください。 ・HPが改善され、更新も多く、わかりやすくなっている。行事だけでなく日常でがんばっている姿・いいところを掲載するなど、更なる改善を図ってほしい。

参考値：【】基礎基本定着状況調査の28年度本校の結果 ( )本校生徒アンケート28年度の結果 —参考値なし

	評価基準	目標値に対する達成度	(その他)
目標値に対する達成度	A:十分に達成されている	100%以上	・議会では学校に関する質問が多く、関心の高さを感じる。 ・朝読書は、全校一斉に全クラスで行うのが良い。
	B:概ね達成されている	90%以上100%未満	
	C:やや不十分である	75%以上90%未満	
	D:不十分である	75%未満	
中間(最終)値÷目標値×100			